

★第1回 地域連携会議

実施日時：2026年（令和8年）1月25日 15時～16時

場所：ドリームハウス2号館

出席者：入居者様：○之○良○ 入居者のお母様：○木○美○様

地域代表：諸岡5丁目自治会長 鬼塚様 ドリームハウス代表・管理者：吉松

<議事録>

議題1：地域連携会議の開催の目的・役割、施設の設立経緯、概要、利用者の状況、経営状況、防災関連の報告

（別紙：パワポ資料にて説明）

厚生労働省の方針に基づき、グループホームの透明性を高め、地域に開かれた施設を目指すための第一回地域連携会議が開催する。施設の設立経緯、事業内容、利用者の状況、経営課題などを報告し、地域との「顔の見える関係」の重要性が共有された。経営面では食材費高騰や、隣接する空き家の雑草問題が課題として挙げられた。

（施設代表者より）：

・グループホームは閉鎖的になりがちで外部から活動が見えにくい。また、食材費高騰や隣接空き家の雑草問題といった経営・環境面の課題がある。なので、施設の「見える化」を通じて地域との信頼関係を構築し、第三者の視点を取り入れてサービスの質を向上させたい。目的としては今後、地域との繋がりを深めるための意見交換や、災害対策などでの協力を依頼したいとの要請がなされた。

・グループホームとして防災マニュアルの作成や備蓄（3日分の食料・水等）を行っていることが報告された。災害時にスタッフが不在の場合、障がいの特性上パニックに陥りやすい入居者もいるため、地域住民に対して温かい見守りと理解を求めた。→町内会からは協力的な姿勢が示された。

●決定事項

- ・本会議の目的(信頼構築、質の確保、地域連携)を自治会長と共有し、今後も継続的に開催する方針を確認した。
- ・地域住民に対して、障がい特性への理解と災害時の協力をお願いすることで合意した。

議題2：入居者の地域活動への参加連携

要約

（町内自治会長より）入居者様より、休日の過ごし方が課題として挙げられる中、町内会長から公園清掃や餅つきといった地域活動への参加歓迎の意が示された。入居者から将棋への興味が示されたことを受け、町内会長が地域の将棋サークルの有無を調査することになった。※「町内会の活動にいつでも参加してほしい。一人で参加しづらければ同行も可能。将棋サークルについて調査し、後日連絡します。」と言われる。

●決定事項

- ・（町内会長）地域内に将棋サークルや同好会があるか調査し、結果をグループホームに連絡する。
- ・（施設代表）地域連携会議の内容を公表する。

内容：本日の会議議事録や活動内容を、法令に基づきホームページ等で公表する。

期限：会議後、速やかに。

（町内会長）将棋サークルの有無を調査し、連絡する

内容：三筑地区会館等で活動している将棋サークルがないか確認し、結果をグループホームに連絡する。

期限：（後日）

（施設代表）施設周辺の雑草問題への継続対応

内容：隣接する空き家の雑草が再度繁茂した場合の対応を検討する。

期限：雑草が問題となる夏場まで。

以上